

書籍名	国民の違和感は9割正しい	著者名	堤 未果
出版社名	PHP新書	発行年月	2024年4月

私たちは日々の出来事に接する時、今までの人生の中での経験から得られた価値観でその出来事を判断しています。実はそれが判断を歪める原因となっているようです。

先入観のフィルターを一枚一枚剥がしていくことで、もう少し「ありのまま」に見ることが出来るようになります。日頃の「違和感」をそのままにせず、その「違和感」の先を1歩、2歩と自分の頭で考えることで「見えるてくる世界」が変わってくると思います。

本書は、国際ジャーナリストの堤が「なんだかおかしい」と感じる「違和感」を記述しています。

- 自己責任の「資産倍増」に推され、多くの人が「新NISA」デビューをしました。
- 2024年1月から開始、株で得た利益にかかる約2割の税金を一定範囲で非課税にする優遇制度です。日本を「資産運用大国」にするために、規制が緩和されました。
- 防衛費のために通信インフラが売られようとしています。…NTT民営化
 - 大事な限りある農地がどんどん売られています。…近年政府が規制を緩めている「農地法」
 - 震災後全国に普及させるために建築基準法の適用外とした事で全国に乱立した太陽光パネル。

私の「違和感」です。

- 神戸市は2020年からタワマンの新築を事実上規制しています。
- 理由はタワマンを作り周辺都市から人を集める都市間競争をしない、人口の取り合いには意味がないと考えています。
- 一方門真市はタワマンの建築を軸にした街の再開発、活性化の取組を現在進めています。これは社会・歴史を見つめる目線が長距離にあるのか、短距離にあるのかの違いでは？
- 東京はマンション価格が高すぎます。
- マンション市場は富裕層だけのものとなり、最も多いマス層を追い出しました。夫婦共稼ぎのダブルインカムを前提として造っているのでしょうか。
- 背景にあるのは人手不足による賃金の上昇、円安による資材価格の上昇など。
- 東京は一般の人が住めない不思議な街です。
- 人材争奪戦が起こっています。ファーストリテイリング(ユニクロ)、三井住友銀行は新入社員の初任給の大幅引き上げを発表しました。新卒を取り合っています。
- 一方中小企業は人手不足で黒字廃業も余儀なくされています。中小企業は企業総数の99.7%、従業員数では69.7%に上ります。大企業だけでは日本を経営できません。

岩 城



編集後記



私はラジオの声で目覚めます。「ニュータウン再生のヒント」をコミュニティデザイナーの山崎亮さんが話し、興味深かったのでチェック！

120年程前の英国で生まれた「ニュータウン」の概念、本来、人間の暮らしの中の、寝ること・食えること・遊ぶこと・働くことを支えていく空間だとか。日本でも1960-1970年代に、都市部に集中する人口の受け皿として、大規模なニュータウンが開発された。ところが50年経過し寝るために帰る場所(ベッドタウン化)となったため、本来、ニュータウンが持つ、遊ぶこと、働くことを取り戻すような取組が必要と、山崎さん。

時代と共に、ニュータウンの在り方も変わる必要がある。ただどのエリアのニュータウンも少子高齢化や人口減少は共通の課題。家族形態の多様化がそこに絡む。京都市洛西ニュータウンの事例を交えながら、地域で遊ぶことと、働くことを始めた町のことを話そうと進む。

都心部から西へ10キロ程離れた洛西ニュータウン、街開きは1976年、人口36,000人は、2020年に21,000人に、当時の子育て世代は現在70-80歳代、高齢化率43%。高齢者と若い世代の交流が少なく、街の活力が低下しつつある中、つながりを生む工夫に焦点を当てた。

エリアの中核にある公園で、20-70代の住民が出し合った企画(例:お米を持寄りおにぎりパーティー)の開催、地元の会社等の参加で地域活動を知る、日常では交わらない世代同士が交わるきっかけができる。要は仕事や遊ぶ空間の前段階として、人と人のつながりが醸成されれば、「仲間と遊ぶことが発展していき働くことにつながっていく」。最後には、街全体が家のようなつながりを醸成するニュータウン

発行所:ライフデザイン研究所 編集人 伊藤 をを目指す!と結んだ。ニュータウン再生は1日にしてならず、つながりから安心感が生ま

所在地:〒541-0048 大阪市中央区瓦町3-4-87サピル2F Tel 06-4708-6844 Fax 06-4708-7067

れ、そして..